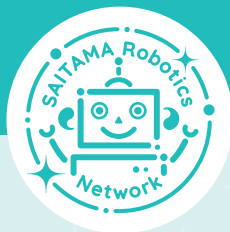


埼玉県ロボティクスネットワーク



埼玉ロボネットとは

埼玉県ロボティクスネットワーク（略称「埼玉ロボネット」）とは、ロボット開発に関わる多様な主体が集まり、協働して社会的課題解決に資するロボットの開発および社会実装を促進し、県内産業の振興と経済的発展を図ることを目的として組織されたコンソーシアムです。

入会費
年会費
無料

Webサイトはこちら▶



🔍 埼玉ロボネット

会員メリット

最適なパートナーを見つける「マッチング支援」



コーディネーターによる 個別最適化

開発プロセスで生じる「製品の改良」、「部材調達」、「新技術の導入」といった具体的なニーズに対し、専門のコーディネーターが最適な技術・シーズを持つ企業を個別にご紹介します。



ニーズ発信型ピッチイベント およびマッチング商談会の開催

開発企業が抱える課題やニーズを発表していただき、その内容に対応できる技術を持つシーズ企業との商談会を後日開催し、より確度の高いビジネスマッチングを実現します。

活動内容



セミナー・ピッチイベント

ロボットに関する政策や技術動向を紹介するセミナー、販路拡大や改良ニーズなどに関するピッチイベントを開催し、交流を促しています。



分野別研究会

会員間で、特定の分野について現場の課題やニーズに関する意見交換を行い、プロジェクト組成やマッチングを支援しています。

お問合せ先

埼玉県産業労働部産業拠点整備推進担当

☎ 048-830-3935 ✉ a3760-05@pref.saitama.lg.jp

ACCESS

🚗 首都圏主要都市から圏央鶴ヶ島ICへの自動車でのアクセス

- ▶ 東京都心から概ね1時間（約45km）
- ▶ 栃木県宇都宮市から概ね1時間10分（約110km）
- ▶ 群馬県前橋市から概ね40分（約65km）
- ▶ 千葉県千葉市から概ね1時間20分（約100km）
- ▶ 神奈川県横浜市から概ね1時間20分（約65km）
- ▶ 茨城県水戸市から概ね1時間40分（約130km）

🚆 電車でアクセス

- ▶ JR川越線 笠幡駅 約1.8km
- ▶ 東武東上線 鶴ヶ島駅 約3km



SAITAMAロボティクスセンター広報誌

SAITAMA ROBOTICS CENTER

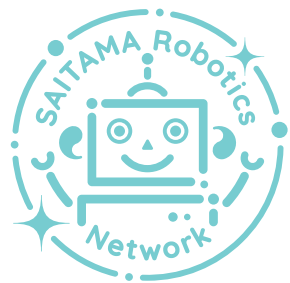
2028年度
OPEN
予定



埼玉県マスコット
「コパトン」「さいたまっち」



※「SAITAMAロボティクスセンター」は仮称になります。



ロボットの開発と社会実装を 加速させる拠点施設と実証フィールド

SAITAMAロボティクスセンター（仮称）

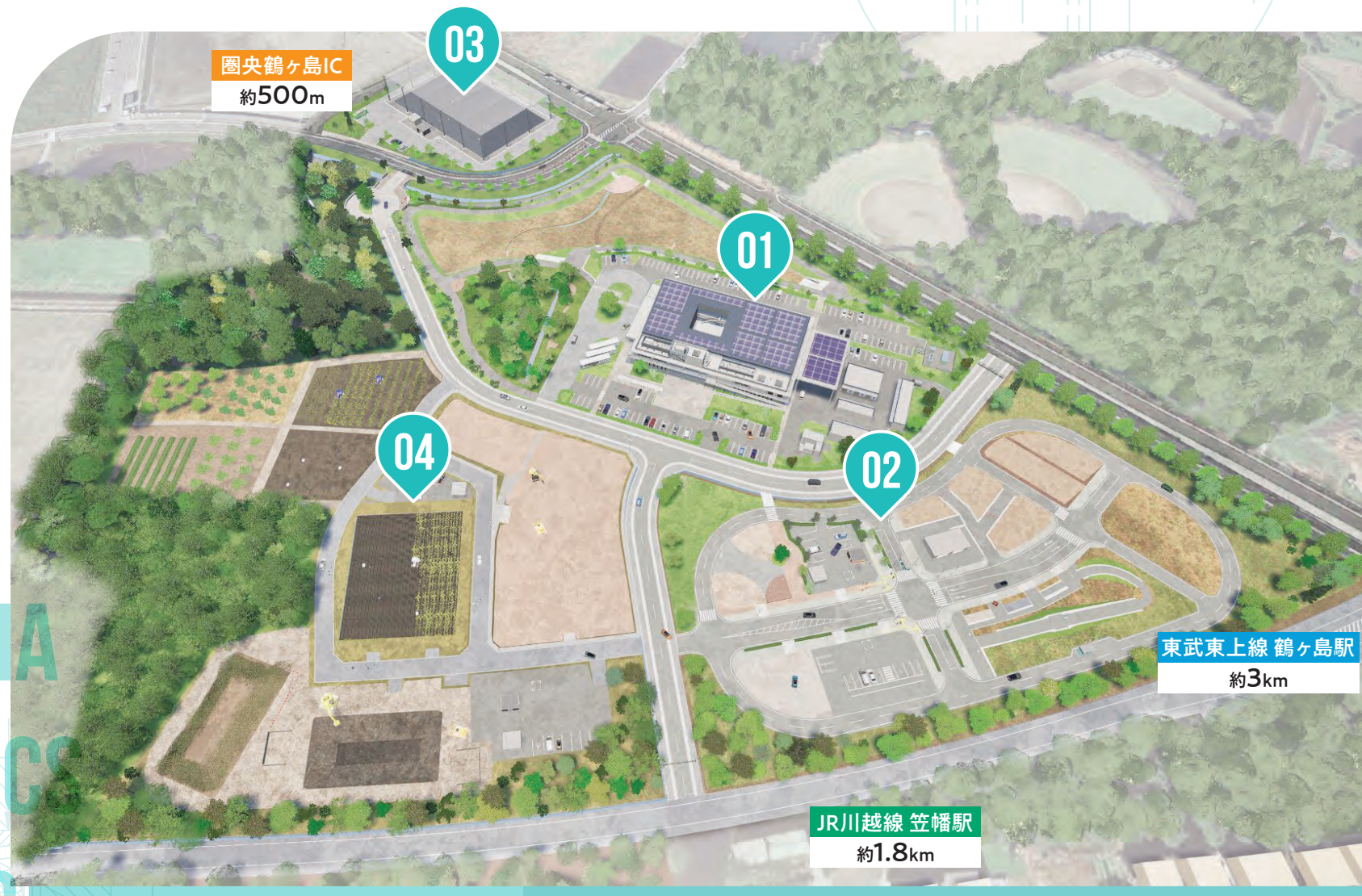
圏央道と関越道が交差する交通利便性の高い鶴ヶ島市において、2028年度の開所を目指してSAITAMAロボティクスセンター（仮称）の整備を進めています。センターを核として埼玉発のロボットが全国に広がることで、県内産業の振興と経済的発展を目指します。本センターは約11haという広大な土地に、レンタルラボなどを備えた拠点施設である①「研究棟（仮称）」と、②「模擬市街地フィールド」、③「ネット付きドローン飛行場」、④「多目的フィールド」の3つの実証フィールドを整備します。



▲動画でチェック



SAITAMA ROBOTICS CENTER



03



ネット付きドローン飛行場

四方がネットで囲まれているドローン飛行場。関東近郊では最大規模のネット付きドローンフィールド。

04



多目的フィールド

林地、樹園地、畑、整地広場、不整地広場などのさまざまな環境を備えたフィールドであることから、多様な実証実験ニーズに対応。

01



研究棟（仮称）

レンタルラボやコワーキングスペース、屋内フィールドなどを整備し、ロボット開発の拠点として、開発支援等を担う。

02



模擬市街地フィールド

信号機やコンビニの駐車場、横断歩道など市街地を模したようなフィールドであることに加え、坂道やでこぼこ道など走行に関する実証実験も可能。

3つのポイント



✓ 首都圏からの好アクセス

「関越自動車道」が南北方向に、「首都圏中央連絡自動車道」が東西に走り、これらを利用できる交通の要衝に立地し、都心からの所要時間は概ね1時間、関東各県からも約2時間以内です。



✓ 多様なフィールド

技術動向・市場・ニーズ調査などの結果を反映し、「模擬市街地フィールド」、「ネット付きドローン飛行場」、「多目的フィールド」等を整備します。



✓ 支援事業

開発事業者からの開発課題に関するさまざまなニーズに対し、マッチングを含む伴走支援などを行うコーディネーターの配置や、より実環境に近い実証場の紹介ができる体制を整える予定です。



01 研究棟 (仮称)

利用環境を想定した 実証実験と研究開発を一体的に支援

研究棟(仮称)は、SAITAMAロボティクスセンター(仮称)の拠点施設です。
館内には、ドローンの飛行実験や搬送ロボットの実験等が可能な「屋内フィールド」、ロボットと連携(RFA規格準拠等)が可能なエレベータや自動ドアなどを整備します。
また、エントランスの階段やトイレなど「館内の共用部全体」を実証実験エリアとして開放し、実際の利用環境を想定した実証実験などを可能にします。
さらに、研究者や開発チームが短期から長期まで腰を据えて活動できる「レンタルラボ」や部品等を試作・加工できる「工作室」を完備します。最新の知見を得られる技術セミナー、製品をアピールする展示会、専門家による技術相談など、ビジネスの成長を加速させる充実の開発支援体制を整える予定です。



エントランスホール



レンタルラボ



貸倉庫



コワーキングスペース



屋内フィールド



2階フロア図

建築面積

・3,823㎡

延床面積

・5,237㎡ RC造、S造およびSRC造3階建て

駐車場

・150台(トラック搬入等可能)

レンタルラボ

・30～67㎡ 29室

利用形態	床面積	室数
月極	30㎡～40㎡	16
月極	60㎡～67㎡	8
一時利用	30㎡～40㎡	5

工作室(導入機器については変更の可能性あり)

・面積38㎡

・3Dプリンタ

・3Dスキャナー

・デジタルオシロスコープ

・工作機器類

コワーキングスペース

・A:183㎡ キッチンカウンター有。折り返し階段有。
(手摺付 幅1,200mm 路面270mm 蹴上174mm 23段)

・B:182㎡ セミナー・ピッチイベントでの教室形式を想定。

エントランス

・面積:267㎡

・階段:幅1,480mm 路面300mm 蹴上160mm 21段

屋内フィールド

・広 さ:14m×21.2m 天井有効高さ9～12m

・床 材:合成樹脂塗床 耐荷重:1,000kg/㎡

・搬入口:W6.0m×H3.0m

シャワー室

仮眠室(ベッド2、横になれる畳あり)

貸倉庫

・耐荷重は500kg/㎡

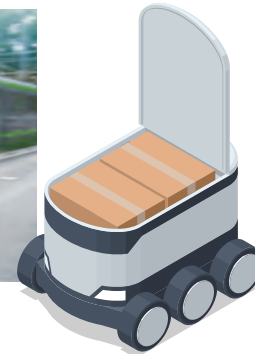
・搬入口は貸倉庫4を除いて電動重量シャッターを使用。

貸倉庫4は手動のシャッター。

部屋	床面積(W×D)	搬入口(W×H)	部屋数
貸倉庫1	5.0m×6.0m	3.0m×2.8m	9
貸倉庫2	6.0m×5.0m	3.5m×2.8m	2
貸倉庫3	6.0m×5.0m	4.9m×2.8m	2
貸倉庫4	3.6m×4.2m	3.3m×1.8m	2

市街地を想定した 多様な道路走行環境を整備

約2.4haの土地に信号機や駐車場、外周道路などを備えたフィールドです。自動配送ロボットによるラストワンマイル配送等の実証実験、次世代モビリティや自動運転車両による実験等を想定し、市街地に存在する急勾配や砂利舗装など多様な道路走行環境を再現します。
なお、研究棟内部まで道路が続いており、屋内フィールドから建物内まで移動することも可能です。



02 模擬市街地 フィールド



信号機交差点

・ロボットと通信可能な信号機(Bluetooth)を整備。

駐車広場ゾーン

・コンビニを模した駐車場。

・一般車用:W2.5m×D5.0m

・障害者等用:W3.5m×D5.0m

・アスファルト舗装:一般車用9台、障害者等用1台

・砂利舗装:一般車用12台

都市広場ゾーン

・アスファルト舗装駐車場スペース7台(W3.0m×D6.0m)。

・北西部の芝生ゾーンでは芝刈りロボットの実証実験が可能。

宅地ゾーン

・住宅地内の生活道路を模している(幅員4～5m)。

・利用者がブロック塀や門扉を模した物を置くことが可能。

盛土住宅ゾーン

・宅地造成工事の完了した街区とし、

街区の高低差に合わせて2断面の敷地(高低差30cm)。

傾斜裸地ゾーン

・隣接道路の縦断勾配が約6%。

・傾斜道路からの宅地への進入の利用を想定。

テクニカルゾーン

・砂利舗装、整備不良路、蓋なし側溝路、急勾配急片勾配路(幅員3m、片勾配6%、傾斜8%)、傾斜路(幅員4.0m、最大高低差2.0m、傾斜8%・10%)、浮き沈みマンホール(3cm～5cm)、路盤空洞(空洞箇所にはスタイロホーム(厚さ20cm))。

道路

区分	幅員(m)	延長(m)	備考
外周道路	6.5	500	片側1車線道路、歩道なし。
模擬道路A	A1	19	71 片側1車線道路、 2種類の自転車歩行者道を確保。
	A2	15.5	75 片側1車線道路、2種類の歩道を確保。
	A3	10.5	33 片側1車線道路、片側のみ歩道を確保。
模擬道路B	B1	17.5	24 片側1車線道路、 自転車歩行者道と歩道をそれぞれ確保。
	B2	15.5	22 片側1車線道路、2種類の歩道を確保。
模擬道路C	C1	6	36 1車線道路、歩道なし。 縦断勾配あり(0.5%)。
	C2	6	39 1車線道路、歩道なし。 縦断勾配あり(6%)。
模擬道路D	D1	5	32 1車線道路、歩道なし。
	D2	4.5	24 1車線道路、歩道なし。
	D3	4	27 1車線道路、歩道なし。

作業室

・W5.5m×D3.3m×H2.3m、間口W2.0m×H2.0m

・設備:エアコン、照明、コンセント(100V、200V(屋内外))

倉庫

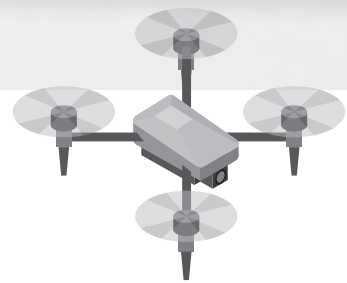
・W6.0m×D5.6m×H3.1m、間口W2.78m×H2.0m

資材庫

・W11.8m×D7.4m×H2.9m、搬入口W2.78m×H3.0m



03 ネット付きドローン飛行場



夜間や目視外の飛行など 「ここならできる」実験がある

約0.9haの土地にある奥行80m、幅50m、高さ12mの四方がネットで覆われた飛行場です。性能評価や型式認証取得を目的とした飛行、操縦訓練のほか、空飛ぶ車を含む超大型ドローンの離発着や移動といった簡易な実証にも対応しています。

なお、航空法の適用対象外となるため、法律上の許可・承認が必要な目視外飛行や夜間飛行などについて、申請手続が不要となり、また長時間連続飛行試験などの性能評価等も行うことができます。



飛行場

- ・80m×50m×有効高12m(支柱高約15m)
- ・アスファルト舗装
- ・ネット内進入口 W3.6m×H3.0m×2か所 W6.0m×H4.5m×1か所
- ・ネット ポリオレフィン2.4mm×100mm目(昇降機能あり)

作業室

- ・W5.7m×D5.5m×H2.3m、間口W2.0m×H2.0m
- ・設備: エアコン、照明、コンセント(100V、200V(屋内外))

倉庫

- ・W4.5m×D5.4m×H2.85m、間口W2.0m×H3.4m

駐車場

- ・一般車用8台、障害者等用1台



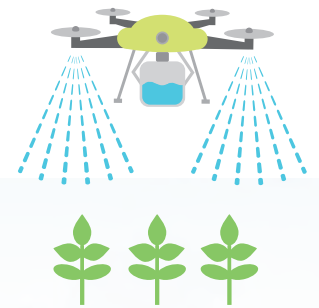
既存自然林を利用した 緑豊かなフィールド

約4haの土地に、林地、樹園地、畑、整地広場や不整地広場などさまざまな実証環境を整備したフィールドです。

収穫者の後ろを追尾する追従型ロボットや、農業散布ドローン、建設機械の自動運転や多数機の自動運行などさまざまな実証実験を行うことを想定しています。



04 多目的フィールド



林地

- ・0.6ha
- ・既存自然林を利用し、林地内に自然地盤および樹林環境での走行を想定した幅員3mの林道を整備。

樹園地

- ・約30m×30m×3か所 約30m×25m×1か所
- ・果樹: 柑橘、栗を想定。

畑

- ・0.12ha(有効1,012㎡)、0.19ha(有効1,667㎡)、0.3ha(有効整形区画50m×20m×2区画)

耕作路

- ・樹園地と畑の間にある農道を模す路線。

整地広場

- ・0.15ha(有効995㎡)、0.42ha(有効3,890㎡)、掘削可、地面は土。

不整地広場

- ・0.21ha(有効1,984㎡)、地面は土。

模擬堤防

- ・高さ4.0m×延長30m、天端幅(管理用通路)3.0m

作業所

- ・北側・南側 W5.5m×D3.3m×H2.3m、間口W2.0m×H2.0m
- ・設備: エアコン、照明、コンセント(100V、200V(屋内外))

倉庫

- ・北側・南側 W6.0m×D5.6m×H3.1m、間口W2.78m×H2.0m

駐車場

- ・北側 一般車用2台、障害者等用1台
- ・南側 一般車用6台、障害者等用1台